

おもしろ算数 54 (小5・6年生)

(このページは、直接入力できません。そのまま見るか、印刷してもらって使ってね!!)

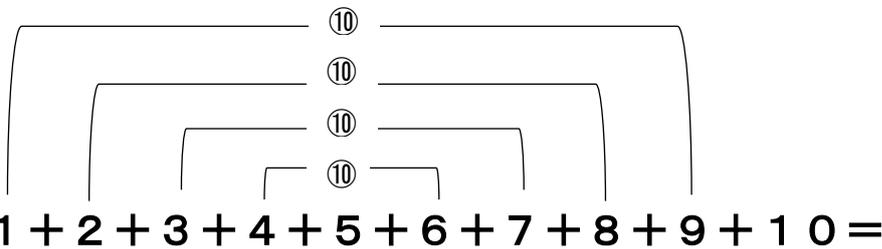
小学校5・6年生のみなさん、こんにちは。

おもしろ算数の問題は、「数の不思議」の問題です。



【問題】

1から10までの数をたすといくつになりますか。
それは、55になります。 こんなふう考えてみます。



$$\begin{aligned} 1 + 9 &= 10 \\ 2 + 8 &= 10 \\ 3 + 7 &= 10 \\ 4 + 6 &= 10 \\ \text{そして、} &10 \\ &5 \end{aligned}$$

はじめに、10がいくつできるか考えて、
つぎに、残った数をたします。

そうすると、55になります。

では、ここで問題です。

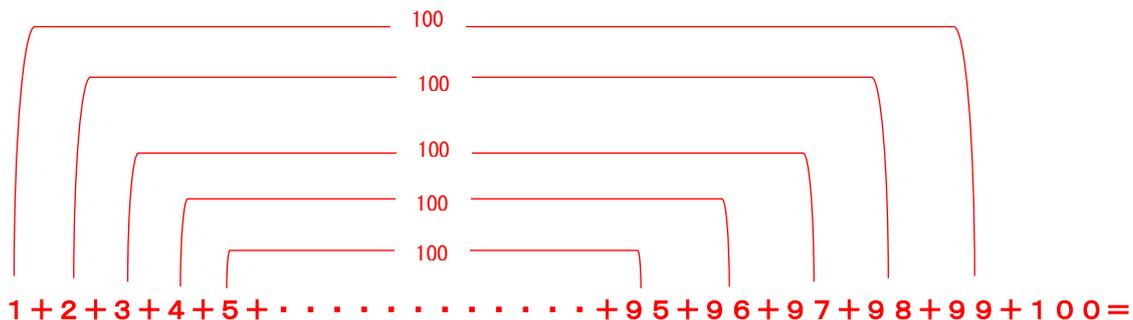
1から100までの数をたすといくつになりますか。

1から10までの数をたした時の考え方を利用して、工夫して計算してみましょう。

【自分の考え】

答え. 1から100までの数をたすと5050になります。

【工夫した考え方】



上の図のように「100がいくつできるか考える」方法で計算します。

すると、 $(1+99) + (2+98) + (3+97) + \dots + (48+52) + (49+51)$ となり、
まず、100が49個でき、4900になります。

つぎに、残った数をたします。残った数は、50と100です。

$$4900 + 100 + 50 = 5050$$

だから、5050になります。

※ $1 + 2 + 3 + \dots + 98 + 99 + 100$ の計算を、直接100個の数をたす方法よりも、
こうして、工夫して計算すると簡単に計算することができますね。